

2012年2月期 第3四半期

決算説明資料

2011年3月～2011年11月



株式会社 エスケイジャパン

代表取締役社長 久保 敏志

(証券コード:7608)

グループ事業内容

キャラクターエンタテインメント事業



株式会社 エスケイジャパン



SKJ USA, INC.

- ・AM(アミューズメント)部門 … アミューズメント施設のプライズ機(景品提供機)向け商品の企画販売
- ・SP(セールスプロモーション)部門 … 企業の販売促進商品等の企画販売
- ・EC(イーコマース)部門 … インターネットサイトでのキャラクターグッズの販売
- ・SKJ USA, INC. … アメリカでのキャラクターグッズの販売およびアメリカのキャラクター発掘

キャラクター・ファンシー事業



株式会社 サンエス



株式会社 ケー・ディー・システム

- ・キャラクターのぬいぐるみ・キーホルダー・携帯電話関連グッズ等をヴィレッジバンガード、ドンキホーテ、キデイランド等へ企画販売

リテイル事業

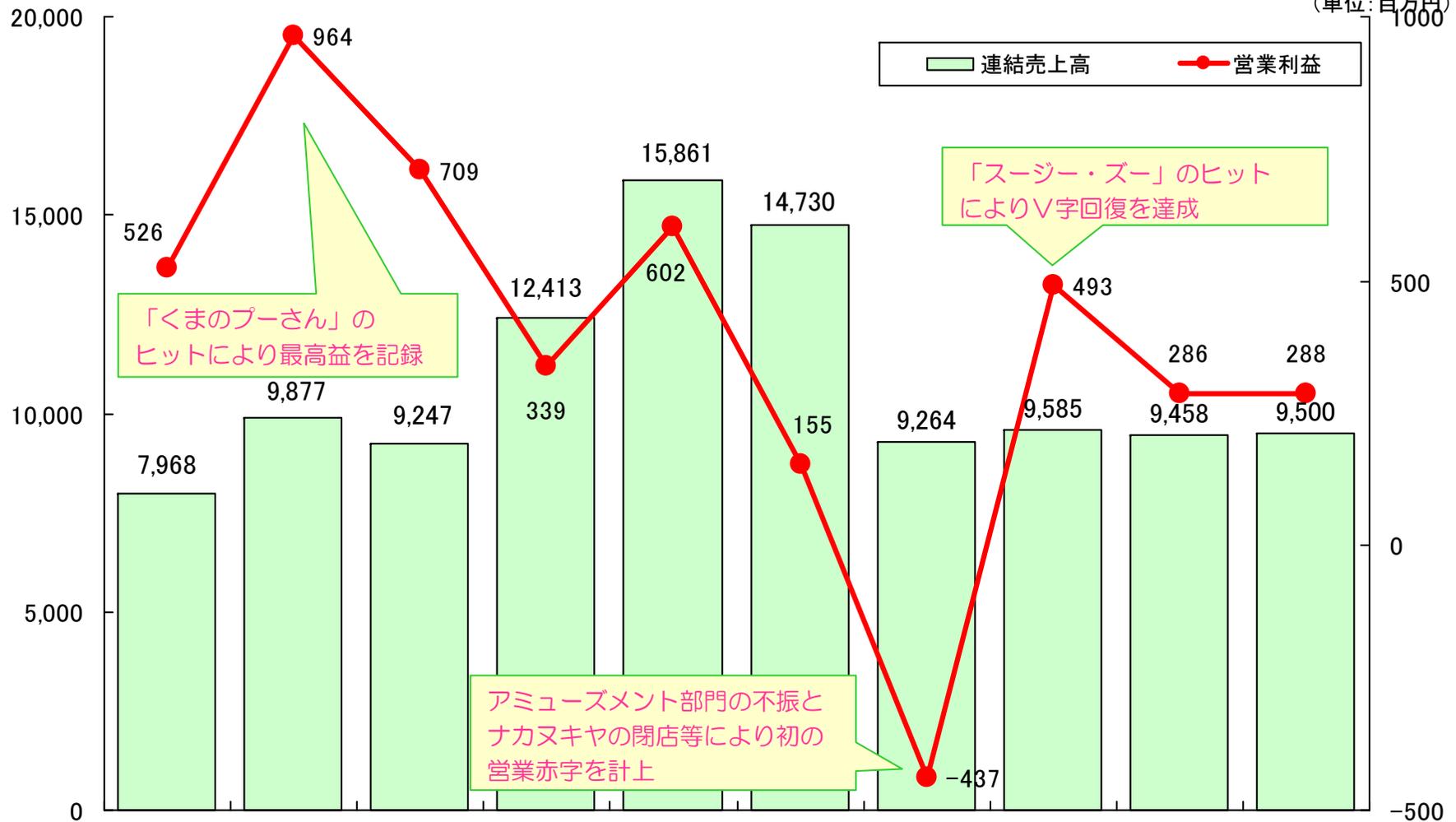


株式会社 ナカヌキヤ

- 「ナカヌキヤ」「SALAD BOWL」でのキャラクターグッズ、コスメ、生活雑貨等の小売販売

連結売上高・営業利益の推移

(単位: 百万円)



ROE(%)	13.0	16.8	16.8	9.3	11.6	-19.1	-37.7	17.1	7.4	12.1
EPS(円)	55.18	65.88	52.51	32.04	43.09	-58.94	-95.93	36.74	16.94	29.81

第3四半期業績報告

四半期業績ハイライト(3~11月)

	07/11	08/11	09/11	10/11	11/11	(単位:百万円)
売上高	10,618 (100.0)	6,648 (100.0)	6,879 (100.0)	7,176 (100.0)	6,579 (100.0)	SP部門の外出産業向け・製薬会社向けOEMが不調(震災によるキャンペーンの自粛) AM部門は前期好調の「スージー・ズー」の反動により不振
売上総利益	2,677 (25.2)	1,646 (24.8)	1,920 (27.9)	1,953 (27.2)	1,791 (27.2)	利益率は前期並みの水準を確保するものの、減収により前年同期比8.3%減益
販管費	2,573 (24.2)	1,986 (29.9)	1,672 (24.3)	1,666 (23.2)	1,595 (24.3)	賃借料、荷造運賃等の減少により前年同期比4.2%減少
営業利益	104 (1.0)	△339 (-)	248 (3.6)	287 (4.0)	195 (3.0)	減収により前年同期比32.0%減益
経常利益	121 (1.1)	△372 (-)	281 (4.1)	287 (4.0)	189 (2.9)	営業外損益△5百万円の影響等により前年同期比34.0%減益
四半期純利益	△75 (-)	△381 (-)	369 (5.4)	118 (1.6)	132 (2.0)	前年同期に特別損失に計上した商品不良損失がなくなったこと等により前年同期比12.3%増益

セグメント別業績増減要因(3月～11月)

キャラクターエンタテインメント事業

(単位:百万円)

	前3Q累計	当3Q累計	増 減	増減率
売上高	4,150	3,688	△462	△11.1%
AM部門	3,044	2,859	△185	△ 6.1%
SP部門	1,071	759	△311	△29.1%
EC部門	33	68	35	106.9%
営業利益	120	15	△93	△86.2%

・AM部門 前期ヒットした「スージー・ズー」の反動

△371百万円

自社企画キャラクターの売上高の減少(でぶねこ、まるねこくらぶ、SweetBear)

△233百万円

新規キャラクターの売上高の増加(モケケ、Moja! 等)

+292百万円

・SP部門 食品業界向けOEMの減少

△152百万円

製薬会社向けOEMの減少

△148百万円

－ 震災によるキャンペーンの自粛・中止の影響 －

セグメント別業績増減要因(3月~11月)

キャラクター・ファンシー事業

(単位:百万円)

	前3Q累計	当3Q累計	増減	増減率
売上高	2,294	2,252	△41	△1.8%
営業利益	177	190	13	7.4%

・ウサビッチ・ディズニー・ドラえもん商品の売上高の減少

当3Q累計実績 68百万円 **△105百万円**
 前3Q累計実績 174百万円

・モンスターハンター商品の売上高の増加 ゲームソフト発売の相乗効果

当3Q累計実績 118百万円 **+53百万円**
 前3Q累計実績 65百万円

・省エネグッズの売上高の増加 震災の影響により扇風機・携帯充電器等の販売増加

当3Q累計実績 35百万円 **+32百万円**
 前3Q累計実績 2百万円

セグメント別業績増減要因(3月~11月)

リテイル事業

(単位:百万円)

	前3Q累計	当3Q累計	増減	増減率
売上高	731	638	△93	△12.7%
営業利益	△8	△18	—	—

・「ナカヌキヤ」3店舗の売上高の減少 △116百万円

心齋橋店 181百万円(前期比△32.2%) 震災の影響による外国人観光客の減少
売り場面積の縮小(前期比55%)

広島本通り店 302百万円(前期比△7.6%) } 近隣にオープンした大型商業施設の影響
松山銀天街店 90百万円(前期比△5.1%) } による商店街のポテンシャルの低下

・「SALAD BOWL」の売上高の増加 +25百万円

当四半期実績 62百万円(3店舗) TSUKASHiN店はオープン1年を経過して知名度が向上
前四半期実績 36百万円(4店舗)

トピックス

ライセンス部門

- ・「ピンクパンサー×チャッツX」に様々な業種の企業から注目が集まる(2012年1月現在 19社)
 - ▶ かばんメーカー、アパレルメーカー、携帯アクセサリメーカー
ぬいぐるみメーカー、モバイルコンテンツ配信企業等
- ・今後も様々なキャラクターにチャレンジし、この部門を成長の柱として取り組む計画

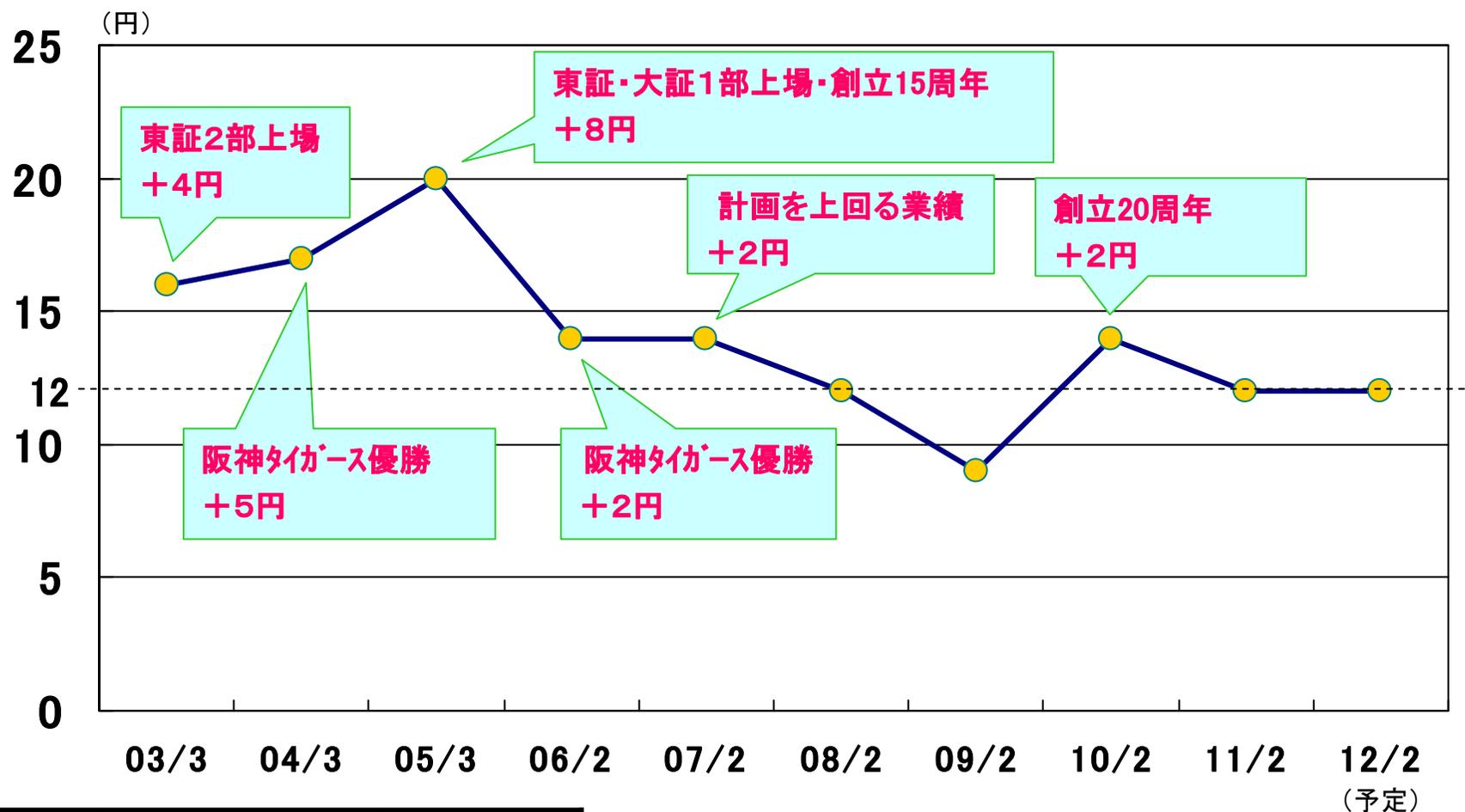
SKJ USA

- IAAPA Attractions Expo2011に出展
(フロリダ州オーランド 2011年11月15日～18日)

配当政策と業績予想

株主還元

当社は株主還元として年12円(中間6円、期末6円)の配当を基本にし、計画を上回る利益が見込める場合は、増配もしくは株式分割を実施することを経営の重要課題としております。



株式分割	1:1.3	1:1.2	1:1.3	1:1.1
------	-------	-------	-------	-------

通期業績予想

(単位:百万円)

	08/2	09/2	10/2	11/2	12/2	前期比
売上高	14,730	9,264	9,585	9,458	9,500	0.4%
売上総利益	3,614	2,185	2,719	2,524	2,499	△1.0%
販管費	3,458	2,622	2,226	2,237	2,211	△1.2%
営業利益	155	△437	493	286	288	0.4%
経常利益	148	△476	527	287	290	1.0%
当期純利益	△489	△789	302	139	245	76.0%